

開校記念講話

8月31日（月）は、唐桑小学校の開校記念日で開校記念講話を実施しました。校長先生からは始めに「この学校で一番年上は？」とクイズが出されました。「校長先生です。」「学校かな？」と子供たちは次々に答えていきました。「正解は学校です。」と校長先生が答え合わせをした後、「では、学校はどれくらいの年か分かりますか？」の問いに「150何歳じゃない」とすばらしい答えがすぐ返ってきました。唐桑小学校は今年で153年となりました。その間には、たくさんの卒業生が唐桑小学校を巣立ちました。曾祖父母、もしくは高祖父母の方々も卒業されている御家庭もあるかもしれませんね。校長先生からは、「帰ったらお家の人に小学校の時のことを聞いてください。」とお話がありました。今の学校と同じような遊びや学習内容、またはその違いについて話題としてみてはいかがでしょうか。もちろん、唐桑小学校以外の学校についてもお話をすることで、校木や校歌などその地域の特性を学ぶこともできますので会話が盛り上がるかもしれません。アトリウムには、大正2年から平成6年までの旧唐桑小学校写真を掲示しています。子供たちは「じいちゃんのときの学校だ。」「唐桑小って人で作った文字なんだってよ。」と興味津々に見入っていました。

